待ち行列シンポジウム投稿用論文フォーム

著者名１　　著者名２
○○大学 △△研究科

概要：概要（省略可）

1. はじめに(節，小節の見出しはゴシック，英文の場合ボールド)

このファイルは余白をTex版スタイルファイルにあわせて調整したものです。
本文は明朝体10pt～12pt。
行間は適当に調整してください。
図表については特に制約はありません。

参考文献

[1] 加藤憲一，高橋幸雄，多段階のサービス割り当てを行うコールセンターモデル-呼損系のオーバーフロー過程の断続ポアソン過程による近似-，　2007年度待ち行列シンポジウム，220--229.
[2] Kawashima, K., An Approximation of a Loss System with Two Heterogeneous Types of Calls, *Journal of the Operations Research Society Japan*, **28** No.2 (1985), 163-176.
[3] 宮沢政清，確率と確率過程，近代科学社，1993.